

3年間をふりかえって -3年学年PTAの皆さまより-



withコロナの3年間

杉山 貴子 さん(3年学年PTA)

新型コロナウイルスの影響で、開催すら危うかった入学式から始まった息子の高校生活でしたが、あと少しで卒業を迎えます。なかなか密になれず、理想とはかけはなれたスタイルでの開催になった行事ばかりでした。そんなやりづらさがある中でも役員さんみんなで協力して、少しでも子供達に喜んでもらえるよう試行錯誤し、数少なくなってしまいましたが、色々な行事を成功させる事ができたと思います。

特に執行部の仲間は本当に頼もしく、団結力があり、役立たずな私でしたが、本当に楽しく執行部でも役員を務める事ができました。これから2度と経験する事ができない貴重な3年間に感動です。

withコロナのあつという間の3年間でしたが、素敵な仲間と密になれて本当によかったです。ありがとうございました。

一緒に作り上げていく達成感

村松 友紀 さん(3年学年PTA)

3年前の入学式、クラスの役員を決める時に役員がなかなか決まらなかったため、私は役員に立候補しました。役員を引き受けたものの、最初はすごく不安でした。でも、役員会に参加したら、先生や役員の皆様がすごく温かく迎えてくださり、「役員の仕事はみんなで一緒に作り上げていく」という形だったので、すごく楽しかったです。

特に一番嬉しかったことは、役員仲間の友達が出来たことです。友達が出来たことで、いろいろな情報を教えていただき、すごく心強かったです。学園祭では、飲食物を販売したのですが、学園祭当日は子どもが友達と楽しそうに過ごしている姿も見れたので嬉しかったです。

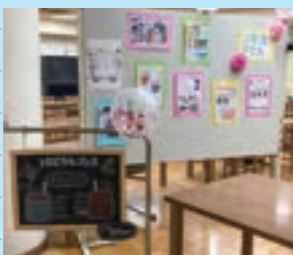
3年間を振り返って、今思うことは、役員を引き受けて本当に良かったと思います。先生や役員の皆様、3年間、本当にありがとうございました。

PTA活動に感謝!

武山 美沙妃 さん(3年学年PTA)

安城学園高校への進学。それは、県外の小さな中学校からやってきた娘と家族にとって大変な生活でした。右も左も解らぬまま、更にコロナと共に過ごした3年間。初々しい制服姿を見られた入学式後、すぐに始まったオンライン生活。ようやく登校できるようになっても殆どの行事ができぬままに。話し合っても中止、また中止と、実現できなかったからこそでしょうか。

今年こそはという想いで、学年が上がってもほぼ同じメンバーが残り、加えて力強いメンバーが増え、活動ができました。子供達の学校生活を共有できた事がとても嬉しく、楽しい時間でした。皆さんに支えていただきながら、3年間で過ごすことができました。ありがとうございました。



無限の可能性



PTA 副会長

松原 真樹

長い間、我慢を強いられた学生生活を送ってきた皆さんですが、今年度は、校長先生がいつも言われていたように、様々な場面で、昨年よりも一歩進んだものになったのではないのでしょうか?

非日常が日常になる中、今の状況に適応し、出来ることを精一杯楽しむ皆さんは、大変頼もしく、私たち大人も見習うべき姿だと感じました。

この先も、マスク生活は習慣化し、非言語が重要になるそうです。安城学園でのキラキラした経験を糧に、無限の可能性をさらに広げて、魅力ある人生を送ってください。

最後になりましたが本年度もPTA活動にご協力いただきまして、ありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。



PTA役員座談会

3年間の PTA活動 思い出トーク

お子さんとともに、安城学園高等学校で活動されてきたPTA役員の皆さん。「卒業」にあたって、この3年間の振り返りさまざまな思い出や感想を語っていただきました。



参加メンバー

会長 伊藤 明仁さん
副会長 大谷 理早さん
書記 神谷 文映さん
会計 神谷 佳寿美さん
監査 佐々木 麻希衣さん

3年間のPTA活動を振り返り、楽しかったこと、苦しかったことなど感想をお願いします。

伊藤 コロナ禍で思うようにできなかった2年間があったからこそ、3年生の時に気持ちが充実し、一言「楽しかった」と思える1年になりました。苦しいことは何もなかったです。



伊藤 明仁さん

佐々木 コロナ禍で会場が密にならないよう考えながら意見を出し合ったことが良い思い出です。小学校や中学校ではPTAは1年のみでしたが、3年間を通して活動できるのが高校の魅力だと思いました。



神谷文 2年生の時に初めて学園祭に参加しましたが、言われるがまま動いていました。3年になって、自主的に行動する充実さを味わいました。「次にいつ会おう、何を買おう」と話し合うことが楽しかったです。



神谷 文映さん

大谷 ファミレスで夜遅くまで「どうする?」と話し合ったことも良い思い出ですね。今年は一歩進んで学園祭にしたい、生徒の皆さんに楽しんでほしいという想いで、役員の気持ちがひとつになれた気がします。



大谷 理早さん

神谷佳 振り返れば、学園祭で「もっとシンプルにやれた」「まとめて買えば良かった」などと思うこともありますが、何度も買い出しをしたあの時間が楽しかったと思います。バス旅行のビンゴなども記憶に残っています。

お子さんが安城学園高等学校に入学して、どのような感想をお持ちですか?

佐々木 娘が2人ともお世話になりました。人と話すことが苦手だった長女が、生徒会長になって堂々と話している姿を見て泣いてしまいました。それで次女にも「安城学園に行きなさい」とすすめました。「娘たちがこんなに変わりました」と本を出したいぐらいです。自分ができることを伸ばす教育のおかげだと思います。

神谷佳 私も兄、妹と安城学園に入学して、兄は学園祭実行委員会、妹は生徒会に入って、人前で話せるように成長しました。目標を決めて、自分の進路を考えられるようになりました。



神谷 佳寿美さん

伊藤 3年間、みっちり勉強しやすい環境にあったと思います。今、国立大学に入学できるよう頑張っています。ご指導いただきありがとうございました。

大谷 自分も卒業生で、ミュージカル実行委員会に参加して人間が変わった気がしました。娘にも入学をすすめ、同じくミュージカル実行委員会に入りました。仲間と関わることで視野が広がり、受け入れること、認め合うこと、様々な面で成長したと感じています。

神谷文 自主活動に力を入れた、親子で楽しめる学校だと思います。娘は学園祭実行委員会で全スタッフの工程をまとめる役目を担当するなど、いろんな経験の中で成長しました。私がPTAの活動で考えごとをしていると、「そんなことで悩めるの?私は150人のスケジュールを考えてるんだけど」と説教されました(笑)。

最後に、1・2年の保護者の皆さんに、卒業するPTA役員としてメッセージをお願いします。

大谷 PTA=固いイメージはありません。入った先に、今まで見たことがない世界が広がっています。学校のことがよくわかり、先生のこともよくわかります。ぜひPTA活動を楽しんでください。

神谷佳 PTA役員になったからには、執行部に入ったほうが絶対に楽しい。会計の役目で大変なことも有りましたが、終わってみればいい経験で、友だちも増えて良いことばかりでした。皆さんにもおすすめします。

佐々木 学園祭で、私はポスター作りを担当し、高校生に戻った気分でした。皆さんも人生の思い出に、もう一度高校生に戻ってみませんか?



神谷文 執行部に入ったおかげで、先生の話が聞けて学校のこともよくわかりました。役員になったら、がっつり執行部に入った方が楽しめると、強く伝えたいです。

伊藤 四国に行ったり、東京に行って国会議事堂で国会議員の方と話す機会もあったり。会長にならないと体験できないことばかりで、人生の勉強になりました。「ぜひ、PTA会長になってください」と言いたいです。ありがとうございました。

